

労働安全衛生政策向上—制度構築から具体的対策まで— Improvement of Policy on Occupational Safety and Health – From Policy Development to Implementation Measures –		継続	
対象国の条件：			
研修コース番号 :J1804253		案件番号 :1884537	
主分野課題 :社会保障/労働・雇用関係			
副分野課題：			
使用言語 :英語			
案件概要			
日本の先進的な労働安全衛生に関する政策や施策に関する理解を深めるとともに、危険機械の検査制度やアスベスト対策等の手法やOSHMS（労働安全衛生マネジメントシステム）の導入等、企業の自主的活動による労働災害防止対策と健康促進手法を習得する。			
目標／成果		対象組織／人材	
【案件目標】 日本の労働災害防止対策及びその核となる安全管理、作業環境管理、健康管理、また、メンタルヘルス対策や交通労働災害防止対策等を理解する。自国の労働安全衛生対策の改善のあり方について考察し、OSHMSの導入や普及などを考慮して、経済の持続的成長の基盤である労働安全衛生水準の向上を目指す。		【対象組織】 開発途上国の労働省、人的資源省、社会福祉省等の政府組織の労働安全衛生政策推進機関	
【成果】 1. 日本の労働安全衛生政策と対策の基本について必要な情報の整理ができる。 2. 日本で実践されている労働安全衛生対策の手法と実際について必要な情報の整理ができる。 3. OSHMS(労働安全衛生マネジメントシステム) の基礎と導入について理解を深める。 4. 上記目標 1、2 及び 3 で得られた知識を活用しつつ、自国における労働安全衛生政策策向上について研修員同士でディスカッションを行い、気づきの点を纏めたレポートを作成する。		【対象人材】 開発途上国の労働省、人的資源省、社会福祉省等の政府組織及び政府関連機関、労働安全衛生推進団体、経営者団体などで労働安全衛生に携わっている者	
内 容			
1. 労働安全衛生概論[講義・視察]（監督省庁及び出先機関の役割と業務、安全衛生行政概論、関係法令、監督制度、資格制度、労災補償制度、災害統計、安全衛生の歴史、労働災害防止団体の役割、安全衛生試験研究機関の役割、当該分野の国際協力の実績） 2. 労働安全衛生手法各論[講義・視察・実習]（労働安全衛生管理概論、教育手法、ゼロ災運動と危険予知訓練（KYT）、危険有害物質の作業環境測定手法、健康手法、アスベスト対策、OSHMSとリスクアセスメント、中小企業の職場改善への支援、機械の安全管理、危険機械の検査制度、化学物質管理、保護具、メンタルヘルス対策、交通労働災害防止対策） 3. OSHMS[ワークショップ]（各国のリスクアセスメント・安全管理・作業管理・作業環境管理・健康管理導入状況の発表及び討論） 4. 各国状況の発表、研修成果を踏まえ課題解決のための議論、気づきの点を纏めた報告書の作成		本邦研修期間	2018/10/8～2018/11/3
		担当課題部	人間開発部
		所管国内機関	JICA東京（人間開発）
		関係省庁	厚生労働省
実施年度	2017～2019		
主要協力機関	中央労働災害防止協会		
特記事項 及び ホームページ			